

公益財団法人 横浜市建築保全公社

1. プログラム実施の目的

- ① 設計の仕事体験を主体的な学びのきっかけとするため
- ② 建築に興味をもつ機会、「将来の担い手」となるきっかけ

2. 実施日時

8月17日(水)・8月18日(木)

①午前の回 9:00~12:00 ②午後の回 13:30~16:30

3. 実施会場

建築保全公社 会議室

KDX横浜関内ビル6階(中区相生町3-56-1)

4. 参加児童数

28名 (17日 14名 / 18日 14名)

保護者・未就学児など同伴者数

29名 (17日 14名 / 18日 15名)

5. プログラムの内容

模型をつかって、以下のことを体験しました。

- ① 「こども建築士」になって学校を設計
- ② 保全公社の3つの修繕工事
 - a. 外壁改修工事 b. サッシ改修工事 c. 体育館屋根改修工事

建築の仕事を知ろう



公社職員による説明

設計、建設、修繕の仕事についての説明



学生コーディネーターによるインタビュー

仕事のやりがいや面白さを職員へインタビュー

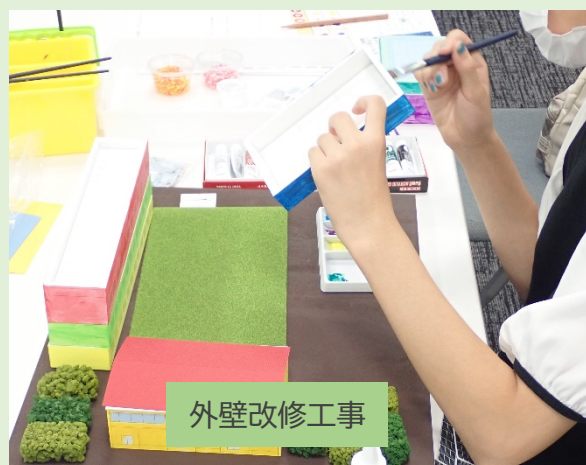
夏休み・お仕事体験プログラム
**子ども
アドベンチャー
カレッジ
2022**

建築の仕事を模型づくりで体験



建物の配置を検討中

「こども建築士」になって学校を設計



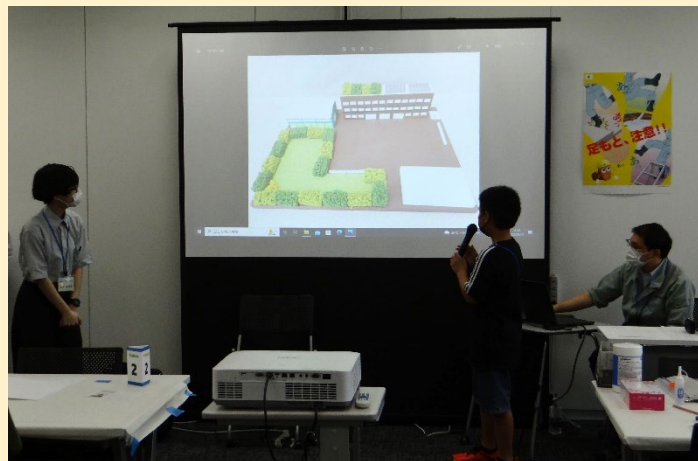
外壁改修工事



サッシ・体育館屋根の改修工事

保全公社の改修工事を模型づくりで体験

振り返り会の様子



イベントの感想や学校の設計で工夫したことを、みんなの前で発表

夏休み・お仕事体験プログラム
**子ども
アドベンチャー
カレッジ
2022**



参加者の感想

学校の配置を決めるのは大変だったけど、とても楽しかったです。

改修工事の説明を聞いているだけでも大変さが伝わりました。
でも、そのおかげで学校が安全になっているんだと思いました。

楽しかった、色を塗ることも、
つくること、建物を配置すること
も全て楽しかったです。

ソーラパネルをたくさん配置して、
環境問題にたいしても考えました。

建物の配置を考えるのは難しかったけど、
学校できているのが楽しくて、
完成したときは嬉しかったです。

色々なきっかけや、やりがい
があって、どれもきちんとした理由
があって仕事を頑張っていることが
凄いなと思いました。

学校の設計を考えるのが楽しかったです。

建築の人の仕事が分かりました。
自分も大人になったらやってみ
たいと思いました。

プログラムを終えての感想

企業・団体の感想

- ・参加者からは「**設計は難しいけど楽しい**」という声を多くいただきました。
子ども達は、保護者や公社職員とコミュニケーションをとりながら、自分で考えて”理想の学校”をつくり上げました。
 **主体的・対話的な学びのきっかけ**
- ・参加者の中には「**将来、建築の仕事をしてみたい**」という声もありました。
“建築の仕事”の紹介に、公社職員へのインタビューを取り入れたことで、よりイメージを深めてもらえたと思います。
「建築に興味をもったきっかけは？」「子どもの頃の学びや勉強で、いまの仕事に役立っていることは？」「建築の仕事のやりがいは？」など
 **将来の社会参加のきっかけ**
- ・建設業界は、”就業者の高齢化”や”担い手不足”の問題が深刻な状況です。
今回の経験を、業界の「**将来の担い手確保**」の取組に生かしたいと思います。



学生コーディネーターの感想

子どもたちが集中して一生懸命作業している姿を見てすごく刺激を受けました。
子ども達の作業している姿を見て、何事にも一生懸命取り組むことの大切さを改めて実感しました。

私も誰かに良い刺激を与える行動ができれば良いなと思いました。



今回プログラムは、参加者にとって夏休みのよい学びの機会になったと思います。

自分の好きな学校にするだけでなく、日当たりや環境への配慮などを取り入れている子が多く、自身で色々と考えて模型を制作していたことが印象的でした。
振り返り会も一人ひとりがしっかり自分の意見を持っていて発表も上手くできていたので、実のあるものになったと思います。

公社の方の話から気づきを得たり独創的な模型を作る小学生たちの姿に、刺激をもらえました。

